

# 議会だより

第2号



### 6月議会

6月1日～25日まで開催されました。その結果をお知らせします。

消防団ポンプ操法訓練大会より

- 一般質問！12議員が日野町政を質す.....P.2～14
- 申入書を提出！地域経済対策.....P.20
- トピックス6月議会.....P.21



蒲生氏郷公顕彰会  
公認キャラクター  
がもにゃん

滋賀県日野町議会  
平成30年6月定例会号  
(平成30年8月15日発行)

国と地方の協議の場 P.15

議案一覧・補正予算 P.16～P.17

各委員会の報告 P.18～P.19

まちの話題 議会を身近に P.22～P.23

議会報告会のお知らせ P.24



平成30年6月

# 町議会定例会における 一般質問内容および質問順序

発言順序・氏名	質問内容	
1 山田 人志	1 地域と関わる職員 2 公民館補助金の問題点	P.3
2 後藤 勇樹	1 深刻な獣害問題。対策に補助を！ 2 困ったときはお互い様！これからの地域福祉	P.4
3 奥平 英雄	1 道路際の不法投棄は無くせないか 2 日野小学校内の排水溝梅雨対策	P.5
4 富田 幸	1 地籍調査の進捗率向上に向けて 2 町道の維持管理及び新設舗装の考え方を問う	P.6
5 東 正幸	1 国保料「払える保険料」をめざして！ 軽減策はないものか？ 2 環境こだわり農産物の取り組みは カメムシ防除は大丈夫？	P.7
6 中西 佳子	1 大雨・豪雨災害対策強化を 2 公共交通の充実を	P.8
7 蒲生 行正	1 幼稚園と小学校のモデル事業 2 若年層の選挙低投票率と主権者教育	P.9
8 齋藤 光弘	1 改正FIT法による調査指導を 2 特定健診未受診者の対策を	P.10
9 堀江 和博	1 これからの農業・農家・農村 2 人口減少がより一層加速している日野町	P.11
10 高橋 渉	1 通学路の安全対策を問う 2 児童虐待防止対策を問う	P.12
11 池元 法子	1 介護職員の人材確保！！ 2 子どもの貧困対策	P.13
12 谷 成隆	1 観光客の公共公衆トイレについて 2 総合防災訓練について	P.14

對中芳喜議員は体調不良により欠席

本会議の様様をインターネットで配信しています。  
(ライブ中継・録画中継)

日野町議会インターネット中継

検索





## 地域と関わる職員

### 公民館補助金の問題点

※今回は2問とも「一問一答方式」なので、それぞれの質問・答弁の概要をまとめました。



山田 人志 議員

#### 地域と関わる職員

**問** 昨年5月に町議会から町長に提出した「定住・移住の促進に関する提言」のなかで、役場職員が仕事でなく個人の意思で地域活動に関わる期待が書かれています。

職員が内向きにならず、まちづくりの推進力になる方針や現況を聞きました。

(次のキーとなる質問から、具体的な内容を一問一答で聞いていました。)

●職員が仕事以外に地域貢献することをどう思うか。現状の取り組みはどうか。

●支え合い事業や子育て支援など分野別にはどうか。

●総合計画や総合戦略が地域マネジメントの基なのか。

●地域と世代の垣根を越えるのに、職員が地域の中から意識誘導するのはどうか。

●職員が自分の意思で地域に飛び込み、知識・経験や人脈を広げる風土はあるか。

**答** 町長からは、全ての住民が助け合う社会づくりと社会教育が大切で、職員もその一員として参加しているのではないかと、いう答弁がありました。

分野別には、関係各課と職員の地域貢献への参加に関してやりとりし、商工観光課からはイベント実行委員会に公募制度があることを聞きました。

地域マネジメントのよりどころは総合計画・総合戦略で、取り組み順序は実施計画で定めて目標の共有に努めているという企画振興課の答えでしたが、意識誘導という言葉に抵抗感があるようで、そこは町長の答弁にあった「社会教育」と考えれば良いと思います。

最後に町長から、職員が自由に意見を言える風土をつくるという話がありました。

#### 公民館補助金の問題点

**問** 地区公民館の制度については、これまでに一般質問で

2回聞きましたが、十分な回答が得られず、制度の未整理がそのままなので、今回は根本の原因の地区社会教育活動補助金について聞きました。

●設計に無理のある補助制度をなぜ始めたのか。

●補助対象を限定する根拠は何か。運営委員会との関係と違いはどうか。

●なぜ補助金で運営委員会や実行委員会を実施できるのか。教育委員会から交付された補助金を教育委員会が使うということか。

●分館長とは何か。補助先の決裁を確認しているのか。

●このままでは補助金要望がないことを想定しているか。総合計画中間評価の「公民館活動のテコ入れ」には制度の見直しも含むのか。

教育長から補助制度を始めた経過の説明はありましたが、曖昧な制度を始めた理由の説明はなりません。

生涯学習課から運営委員会・実行委員会は教育委員会の組織という話はなく、逆に、民間団体と上下関係があるかのような答弁がありました。

また、教育委員会から出た補助金を教育委員会が使う点は、基準事業の説明という関係のない話になりました。

最後に、制度の見直しについて、教育長からは胸を張れる「活動」という答えで、「制度」の話になりませんでした。

#### 議員のコメント

1問目は、職員を内向きにしない、役場の人づくりの風土について聞きました。

2問目について、日野町の公民館活動で胸を張れるのは住民の頑張りであって、その裏で、いい加減な制度を長年続けている町行政が胸を張れるとは思えません。

**答** 今回の質問に対する教育長と生涯学習課の答弁は、終始論点がずれ、議論がかみ合わないまま終わりました。





後藤 勇樹 議員

深刻な獣害問題。対策に補助を！

困ったときはお互い様！これからの地域福祉

深刻な獣害問題  
対策に補助を！

**問** 当町の有害獣捕獲において鹿は半数以上、猿はほぼ全数が銃による捕獲である。近年、猟猟免許取得者は若干増加傾向にあるが銃猟免許取得者は減少の一途である。銃の所持許可と銃猟免許取得には高額な費用が掛かる。獣害対策促進のためにも近隣市をならい補助を手厚くできないか。また、更なるジビエ振興のため、捕獲獣肉をカレーチェーン店等に出荷されている食肉加工処理施設に急速冷凍機設置補助を出せないか。捕獲のみならず農家に正しい獣害対策の研修等は行っているのか。

**答** 銃猟免許や銃所持許可申請への補助は考えていない。食肉加工処理施設に対しては、獣肉の活用を支援できるような補助金の活用を施設側と相談していく。獣害対策の正しい知識については出前講座等を受け付けて

いる。今後も正しい知識の普及に努める。



近江日野産鹿カレー

	ニホンジカ		イノシシ		ニホンザル	
	銃器	罠	銃器	罠	銃器	罠
捕獲頭数	233	92	27	142	86	0
合計	325		169		86	

	ニホンジカ		イノシシ		ニホンザル	
	銃器	罠	銃器	罠	銃器	罠
捕獲頭数	197	109	19	84	85	2
合計	306		103		87	

	ニホンジカ		イノシシ		ニホンザル	
	銃器	罠	銃器	罠	銃器	罠
捕獲頭数	172	157	32	263	80	7
合計	329		295		87	

	ニホンジカ		イノシシ		ニホンザル	
	銃器	罠	銃器	罠	銃器	罠
捕獲頭数	144	117	20	120	91	5
合計	261		140		96	

	猟猟免許	1種銃猟免許
平成26年度	5	0
平成27年度	9	1
平成28年度	4	0
平成29年度	3	3

	日野町猟友会会員数	77
猟猟免許取得者数	66	
第1種銃猟免許取得者数	21	

※平成30年1月末現在



地域福祉について意見交換する東桜谷のみなさん

**問** 安心な地域生活を求め「地域福祉」の重要性が増してきている。東桜谷では地区社協や人推協が中心になり、有志の方々による移動サービスを手始めに新しい共助の形作りが始まっているが、これらの地域福祉に対し町行政はどうか。

**答** 今後、地域での支え合い活動の具体化に向けて住民と話し合いを進める中で、具体的な支援・連携のあり方を模索していきたい。生活困窮者自立支援制度については民生委員を通じて対象者の把握に努めている。様々なケースがあるためマニュアル通りにはいかないが、それぞれの方に寄り添い、支援を模索していきたい。

どのように関わっていくべきか。他方、経済的に困窮し、最低限の生活を維持できなくなるおそれのある人たちに対し、平成27年度から生活困窮者自立支援制度が施行されたが、当町における制度の利用状況はどうか。

**議員のコメント**  
獣害対策の補助は甲賀市などを参考に更なる拡充が必要。農家、猟師ともに後継問題を考えるとなおさらである。地域住民同士の支え合い活動にもガイドラインが作成できると一層取り組みやすくなる。またボランティア活動保険等も周知の必要性が。



## 道路際の不法投棄は無くせないか

### 日野小学校内の排水溝梅雨対策



奥平 英雄 議員

#### 道路際の不法投棄は無くせないか！

**問** 町並みには、緑が広がる季節になってきました。毎年、道路際に草が生え道路際が見られない状態になり、ペットボトル、空き缶、煙草の吸殻、コンビニで買った弁当の殻、コンビニで買った弁当の殻、食べた後のゴミ、解体した木材、タイヤまで捨ててあります。町はこうした状況を知っておられるのか。知っておられるのであれば、町の考えを聞かせてください。

**答** 清潔で美しい緑豊かなまちづくりを目指すため、不法投棄を含め散在性ゴミをなくす環境美化の取り組みが必要と考えています。町では、日野町エコーイフ推進協議会とともに5月にごみゼロ大作戦、11月に県下一斉清掃を行い、国道307号および国道477号を中心に散在性ゴミ、不法投棄防止の啓発も含め取り組みを行っています。清掃活動には、学校、事務所

各種団体等多くの方々に参加いただいておりますが、ほかにも自治会独自や事業所独自に清掃活動の取り組みをされているところもあり、行政や住民、事業所などが一体となり、美しいまちづくりを目指していく必要があると考えます。

道路際の除草作業につきましては、地域の皆様のご協力により周辺地域の自治会や団体で道路愛護活動に多く取り組んでいただいております。また、不法投棄につきましては、住民の皆様から連絡をいただいたり、県のパトロールにより町に連絡があれば対応しています。今後も、引き続き行政での取り組みと、地域の皆様のご協力により環境美化活動の推進に努めてまいりたいと考えております。



ごみゼロ大作戦の様子

#### 日野小学校内の排水溝梅雨対策

**問** 日野小学校プール南側から、校舎西側に繋がっている排水溝がありますが、プール南側と校舎西側の角から、南向きの排水溝にグラウンドの砂が流れ排水溝に詰まり、水が流れない状態です。また、繋がっている角のコンクリートが割れ落ち排水溝を塞いだ状態です。梅雨になる季節になり、雨が続きと逆流をすることも考えられます。またコンクリートがないため溝蓋もなく危険です。早急に直せないか町の考えを聞かせてください。

**答** 町内各小中学校の施設については、学校の用務員はもちろんPTAの環境整備作業等において保護者の皆さんにもご協力いただき、学校施設の整備と安全対策を講じています。日野小学校のプール南側から校舎西側に繋がっている排水溝についても定期的に排水溝の泥上げを

実施しておりますが、現状を確認したところ一部ご指摘のようにグラウンド等の砂が流れ落ち、排水機能に支障が生じている箇所、溝蓋が落ちている箇所がありました。

排水溝の泥上げについては、長年堆積している箇所もありますので、日野小学校とも相談し、他の修繕箇所、また他の学校との優先度合いを考慮しながら進めていきたいと考えております。

排水溝の角のコンクリートが割れ落ちていた箇所については、新たに蓋を設置し、安全対策を講じました。今後も学校管理者と連携を取り合い、児童生徒がより安全に学校生活を送れるよう努めていきたいと考えております。

#### 議員のコメント

不法投棄は何故するのか、もっと町として考えてもらいたい。5月・11月に清掃作業をされているが、草が生える季節を考え除草作業をしてもらえないのか。日野小学校については、まだ溝蓋が無い所があり、安全対策に努めてもらいたい。





富田 幸 議員

## 地籍調査の進捗率向上に向けて

### 町道の維持管理及び 新設舗装の考え方を問う

#### 地籍調査の進捗率 向上に向けて

**問** 昨年の9月議会での一般質問において、「所有者不明土地について」と題して質問を行いました。今回は関連する事項として標記の質問を行った。

**答** 県内の所有者不明土地を把握する目安として地籍調査が有効だと、去る4月5日の地方新聞に報じられていた。それによると当町の調査進捗率は15・3%であり、今後この調査業務をどのように進捗させるのかを問いたい。

**問** 平成29年度末の滋賀県の進捗率は、13・6%であり1市を除く18市町で着手されている。その中で日野町は15・3%で、県下では、ほぼ平均的な実施状況である。公表されている進捗率の調査面積には、土地改良事業や区画整理事業で換地された土地が含まれている。日野町は、全域の半分以上を森林が占めて

いることから、進捗率の高い市町と比較すると低いのが現状です。地籍調査の必要性は理解しており、引き続き取り組みを進めてまいりたいと考えています。



明治時代の地租改正時に作られた地図



地籍調査にて作成された地籍図

#### 町道の維持管理 及び新設舗装の 考え方を問う

**問** 日野町内の町道は381路線、251kmの延長であり、町はこれらの維持管理を行っているかと聞いています。これらの中、車両の通行可能な延長、そのうち、アスファルト舗装の出来ている延長はどれだけか。また維持管理の方法はどのように行っているのか。次に町道の舗装であるが各集落周辺では、ほとんど完了していると思うが、農用地に接する町道の舗装はどうすれば実施できるのかを伺う。

**答** 町道の実延長248kmのうち、自動車が行き可能な道路は228・5km、また、舗装済の道路は213・2kmとなっています。次に道路の維持管理は、通常は、舗装の破損箇所を、町の請負業者によりアスファルト合剤で対応している。また、応急的な対応について

は町の職員が常温合剤で処理をしている。次に、農用地に接する未舗装町道では、必要性を判断し対応をしている。



農用地に接する町道

#### 議員のコメント

地籍調査の必要性を認識し、積極的に進めてもらいたい。農地に沿った未舗装町道についても、砕石材の支給で地元が散布するなど従来の手法ではなく、町道としてしっかりと舗装工事を進めていただきたい。地域による格差の無いように対応してほしい。



## 国保料「払える保険料」をめざして！ 軽減策はないものか？

## 環境こだわり農産物の取り組みは カメムシ防除は大丈夫？



東 正幸 議員

### 国保料「払える保険料」をめざして！

#### 軽減策はないものか？

**問** 保険料の負担率は健保組合（大企業）は所得の5・7%、共済組合（公務員）は6・0%、中小企業の（協会けんぽ）は7・5%、国保は9・9%と高い率であります。払える保険料を求めましょう。

① 本年は激変緩和措置がされるが激変対象をどこに置くのか、どの程度が激変なのか。

② 財政安定化基金を激変緩和措置として毎年活用できないか。

③ 子どもの均等割りを免除や軽減ができないか。

④ 町独自で低所得者に対する保険料の軽減はできないか。

**答** ① 激変緩和措置について当町は平成30年度で約7千3百万円の措置を受けている。基礎となるのは28年度決算ベースで一人当たりの納付金額との比較である。

② 滋賀県では財政安定化基金のうち約3億円が激変緩和措置に充当できることとなっている。

③ ④ 子どもに係る保険料算定における均等割りの免除や低所得者に対する町独自の保険料軽減については、新たな財源が必要となることから国全体で検討すべきと考えている。

モデル：夫婦・子ども2人（18歳以下）の4人世帯

所得	平成29年度 年税額	平成30年度 年税額(減免前)	子ども減免額
100万円	153,700円	165,000円	10,900円
200万円	256,600円	289,200円	17,400円
300万円	343,800円	395,600円	21,600円
400万円	399,900円	466,600円	21,600円

※大阪市18歳未満1人目の子均等割2割減額2人目以降は半額  
 ※田原市・就学未満児について均等割を3割減額  
 ※加賀市は18歳未満の子どもに適用・均等割額を2分の1  
 ※ふじみ野市・富士見市 3人目の子どもから減額

(中央社会保障推進協議会の資料より)

### 環境こだわり農産物の取り組みは カメムシ防除は大丈夫？

#### カメムシ防除は大丈夫？

**問** 環境こだわり農産物の生産拡大が図られています。安全安心な農作物の供給に向け取り組みがされている。

① この環境こだわり米の現状はどうか。近隣市町との比較はどのくらいか。

② 斑点米が出るカメムシが大量に発生し防除がされてきた。防除に使用される農薬は残効性・浸透性、神経毒性で昆虫類に影響があり、ミツバチ、赤とんぼが大幅に減っている。滋賀県での使用農薬の実態を伺う。

**答** ① 環境こだわり農産物は年々増えている。大部分を占める環境こだわり米は（みずかがみ）が食味ランキングで特Aを獲得、町内から最優秀賞を受賞されている。こだわり米の面積は5年前150ha、昨年は300haを超えている。

東近江地域内は水稻全体の45%、当町は30%となっている。

② 斑点カメムシ防除は、米の品質に大きく影響することから一斉防除されるが、ミツバチに影響があることから蜜蜂業者への連絡を徹底し、ミツバチへの危害防止に努めている。



有機栽培米  
(食の安全性が叫ばれる中、少しでもオーガニック農業を広げよう)

#### 議員のコメント

「有機的な農業を増やそう」かつて有吉佐和子の小説で話題になりました「複合汚染」の中に農産物の残留農薬による健康への影響が大きな社会問題になりました。まず、「減農薬・減化学肥料」をはじめとして「食の安全」と「環境」へ配慮した農政へ広げていきましょう。





中西佳子 議員

## 大雨・豪雨災害対策強化を 公共交通の充実を

### 大雨・豪雨災害対策強化を

**問** 今年も大雨や長雨による道路冠水や浸水災害が懸念される。行政懇談会要望でも大雨による浸水対策として側溝改良や側溝蓋の設置要望が多くある。住民が安全・安心して生活出来るよう安全対策・浸水対策を伺う。

①雨水排水事業計画の進捗状況は。

②要望されている側溝改良工事について、緊急性の高い箇所から順次整備となっているが町の基準は。

③歩行者や自転車転落する危険性のある側溝に蓋はできないのか。また通学路において、側溝に転落する危険性のある箇所への対策は。

**答** ①本年度は、十禅師・木津・日田地先を通って国道307号日水バイパス手前まで工事予定。平成32年度までに松尾2区地先の町道横町線と町道大窪内

池線の信号交差点までの工事予定。

②町道側溝改良は、過去に家屋などで浸水被害のあった箇所や、通学路の安全対策の必要な箇所を優先に実施している。

③道路側溝への蓋の設置等は、必要な修繕等を実施している。通学路については点検を行い、対策の必要な箇所は随時対応している。



整備された町道側溝 (大窪地先)

### 公共交通の充実を

**問** 公共交通は、通学や通院、買い物など日常生活になくてもならない移動手段です。今後も持続可能な公共交通のために、町の利便性向上の取り組みを伺う。

①町営バス、デマンドタクシー利用者の状況は。

②年2回の動態調査の結果はどうか。見直しや改善点は。

③利便性を向上させ、利用者増への町の対策は。

**答** ①町営バスの利用者は平成29年度約10万7千人。定期・定期外利用者は、毎年減少し続け、29年度は5万5069人。デマンドタクシー利用者は平成28年度563人、平成29年度は311人。

②動態調査については、平日の利用者数は、一日348人、土曜日の利用者数は一日74人。乗降者調査とヒヤリング実施の中で、ほとんど利用されない時間

帯もあることから、利便性の向上と共に、効率性についても検討していく必要がある。

③利便性向上については、近江鉄道や日八線との接続を考慮したダイヤ改正を行うとともに、車両の低床化を進めていく。利用促進については、広報等による利用啓発を中心に行う。



### 議員のコメント

多くの地域から側溝改良の要望があり、優先順位や計画年度を示す必要があると考えます。通学路についても道幅が狭い道路の安全対策を進めていきたいと思います。町営バスについては、利便性向上と効率性についても早期に検討をしていきたいと思います。



## 幼稚園と小学校のモデル事業

### 若年層の選挙低投票率と主権者教育



浦生 行正 議員

全ての幼稚園で

預かり保育を！

通学送迎ガソリン代

補助を！

もうモデルの名称を

取り外しては！

**問** モデル事業とは、ある地域またはある時期、模範的に行われる公的事業で、年度終了後に効用を確認し評価する事業です。①幼稚園預かり保育モデル事業と通学区域柔軟化対応モデル事業の今日までの評価は。②全ての幼稚園で預かり保育を実施すべきでは。③通学区域柔軟化対応児童の保護者に通学送迎ガソリン代補助を。④もうモデルの名称を取り外しては。

**答** ①保護者からは良かったとの声を聞いている。待機児童が減少している。通学区域柔軟化対応は一定の役割を果たしている。②現状では新たな預かり事業を実施すべき状況は生まれていない。③送迎のためのガソ

※通学区域柔軟化対応モデル事業の実施状況(人)

小学校	26年	27年	28年	29年	30年	幼稚園	26年	27年	28年	29年	30年
日野⇒西大路小	7	8	10	15	16	日野⇒西大路幼	6	8	5	1	3
日野⇒南比都佐小	1	1	2	1	0	日野⇒南比都佐幼	1	0	4	1	1
日野⇒桜谷小	3	0	0	0	0	日野⇒桜谷幼	1	0	1	0	0
日野⇒必佐小	0	0	2	3	3	日野⇒必佐幼	3	3	7	1	3
必佐⇒南比都佐小	1	1	0	0	0	西大路⇒日野幼	0	0	1	0	0
必佐⇒桜谷小	0	0	0	0	1	南比都佐⇒鎌掛幼	1	7	—	—	—
合計	12	10	14	19	20	合計	12	18	18	3	7

リン代補助は難しいと考えている。④預かり保育モデル事業は待機児童対策として実施している。必要がなくなれば廃止。通学区域柔軟化対応は今後もモデル事業として実施していく。

一過性に終わらない

主権者教育を！

若者を期日前投票の

立会人に！

**問** 選挙権年齢が20歳以上から18歳以上へ引き下げられたが、年齢別投票率は他の世代に比べて、若年層の投票率が低い。選挙への参加を促すような環境づくりと主権者教育が必要です。①低投票率の選挙の認識と見解。②投票率を上げる取組は。③どのような主権者教育をなされたのか。④期日前投票の立会人に18歳から22歳までの若者を。⑤4年後には成人式の年齢も変わるのか。

**答** ①政治に対する関心や信頼の薄れ、主権者としての意識の低下。多くの方が棄権されることよって民意が反映されない。②教育現場と連携した啓発などが必要。③小・中・高において教科の年間指導計画に位置づけ指導している。日野高校3

※平成28年7月10日参議院議員選挙と平成29年10月22日衆議院議員選挙投票結果

日野町	平成28年7月10日 参議院議員選挙			平成29年10月22日 衆議院議員選挙		
	有権者 (人)	投票者 (人)	投票率 (%)	有権者 (人)	投票者 (人)	投票率 (%)
18歳	200	95	47.50	201	100	49.75
19歳	199	112	56.28	188	55	29.26
18歳~ 全て	18,201	10,975	60.30	17,977	10,291	57.25

年生を対象にした出前講座。④選挙の中で議論してまいりたい。⑤成人式の年齢も引き下げることになる。国から出される方針を踏まえて考えたい。

#### 議員コメント

近年、モデル事業の実績報告書が出されていない。これは大きな問題。過去3回前向きだった通学区域柔軟化対応児童通学補助の答弁が今になって後退。なぜ？主権者教育は一過性に終わらない取り組みを望む。





齋藤 光弘 議員

## 改正FIT法による調査指導を 特定健診未受診者の対策を

を基に国が指導及び助言、改善命令等を行うというものです。



町内の太陽光発電事業所

<認定基準（新制度で追加される主なもの）>	<地域と共生しつつ、長期安定的な発電を確保する仕組み>
<b>1. 事業の内容が基準に適合すること</b> 適切に保守点検及び維持管理するために必要な体制を整備し、実施するものであること 外部から見やすいように事業者名等を記載した標識を掲げるものであること（太陽光20kW未満除く） 設置に際して必要な費用、運転に必要な費用、発電量等に関する情報について経済産業大臣に提供すること 発電設備の廃棄その他の事業を廃止する際の設備の取扱いに関する計画が適切であること （バイオマスの場合）発電に利用するバイオマスを安定的に調達することが見込まれること （地熱の場合）地熱資源の性状及び量の把握を運転開始前から継続して行うことその他の必要な措置を講ずること	認定申請段階 認定申請情報を関係省庁・自治体に共有 関係省庁や自治体において、土地利用規制等の関係法令・条例の遵守を確認できる よう認定申請情報をシステムで共有 認定基準に基づく事業計画の審査 適切なメンテナンスの実施、関係法令・条例の遵守など、事業が適切に実施される見込みがあることを認定時に確認 認定情報の公表 認定した事業計画（太陽光20kW未満を除く）の主要な情報を広く一般に公表 事業実施段階 事業計画に違反した場合の指導等 関係省庁・自治体からの情報提供などを基に、関係法令・条例違反等、認定基準への違反が判明した場合は、FIT法に基づいて指導・改善命令・認定取消しを行う
<b>2. 事業が行きつづき確実に実施されたと見込まれること</b> 接続することについて電気事業者の同意を得ていること	
<b>3. 設備が基準に適合すること</b> ※ほぼ現行を踏襲	
<b>（1～3共通）</b> 関係法令（条例を含む）の規定を遵守するものであること	

**問** 平成29年4月から、太陽光発電事業計画の新たな認定制度（改正FIT法）が施行され、認定基準を遵守することが義務付けられました。①事業者への国の監視指導は。②遵守事項に沿った設置調査は。③届出ない事業所の調査指導は。④町独自の条例制定の検討は。

**答** ①改正FIT法による事業者への国の監視指導体制ですが、平成30年2月2日付で国より協力依頼がありました。関係法令、認定基準等に違反している町が判断し、文書等により事業者に対して指導等を行った場合に、国にその旨を情報提供し、これを基に国が指導及び助言、改善命令等を行うというものです。

②FIT法改正前に届出のあった事業所には不適切なものが存在しています。改善するよう引き続き指導しているところです。③国が公表する発電設備により、事業者に対して届出等の対応を求めている。住民等から情報提供があった設備については、現地確認を行い指導している。④県独自の取り組みを進めるよう町村会を通じて要望。今後も設置状況の把握と指導要綱に基づき指導に努めます。

国保特定健診 自己負担金  
**無料**

受診者には、おさんぽカード  
50ポイントの引換券を  
**プレゼント**

**問** 特定健診未受診者への対策は。②ヘルスケアポイントの運用は。③町の健康ガイドブック作成は。

**答** ①未受診者には個別通知や電話による直接的な働きかけを実施しており継続して進めたい。地域住民全体の健康意識を高めるよう健康推進委員や公民館、各関係機関と連携して更に取り組んでいきたい。

**問** 特定健診受診率は近年では35%前後で推移しており、成果の上がる対策が必要ですが、

①特定健診未受診者への対策は。②ヘルスケアポイントの運用は。③町の健康ガイドブック作成は。

②健康ポイント事業として特定健診の受診者に日野町商業協同組合発行のおさんぽカードに50ポイント引換券を付与する。③健康づくりカレンダーや対象となる年齢層や伝達内容に合わせて個別に情報チラシ等により周知している。新たな情報誌を作成する予定はない。

議員SPEAK

町は違反する不適切な発電事業者を国に情報提供する旨の取り組み決意を宣言されました。改善されることを期待します。

町民の健康寿命の延伸、健診受診率の向上の取り組みをさらに検討し、医療費の縮減に努めるよう求めました。





これからの農業・農家・農村

人口減少がより一層加速している日野町



堀江 和博 議員

これからの農業・農家・農村

**問** 農業・農家・農村をめぐる環境は大変厳しい状況にあります。農地集積・大規模化、輸出や六次産業化等の攻めの農業が取り組まれる一方、兼業農家を中心に営まれてきた「集落」規模の小さな農業は行き場を失いつつあります。農業をいかに守り、後世に受け継いでいくかは、農村集落の行く末と直結する重大問題です。そこで伺います。

- ①日野町の農業の全体像は。
- ②現状や課題は。
- ③現在の取組みは。

**答** ①総農家戸数1,112戸のうち専業農家が144戸で13%、兼業農家が766戸で69%、自給的農家は202戸で18%、県平均より兼業農家の比率が高い。販売目的の作付面積比率は、水稲80%、麦類が10%、豆類が5%、野菜類が0.7%であり、県平均より水稲の比率が高く、野菜の比率が低い。



②農業者の高齢化や担い手不足、また耕作放棄地などへの不安があり、毎年のように農家が減少している中、地域農業・農地をいかに守っていくかが大きな課題である。

③集落住民が課題を共有し、将来展望を描けるよう町からは「人・農地プラン」の作成を働きかけている。また、県・町・JA等の関係機関が連携し経営改善や補助事業の相談・支援を行い、耕作者のいない農地は中間管理機構を通じ集約できるように取り組んでいる。

人口減少がより一層加速している日野町

**問** 想定以上に日野町の人口減少は加速しています。この5年で日野町の人口は約千人も減っており、単純に計算すれば、あと7年程で人口2万人台を切ります。そこで伺います。

- ①人口減少の現状と原因は。
- ②これまでの人口減少対策は。
- ③今後の対策方法は。

**答** ①想定を超える人口減少の主な要因は、予想を超える転出超過と出生数の減少にあると分析している。

②人口減少対策を柱として作成した「日野町くらし安心ひとづくり総合戦略」の50の施策に取り組んでおり、毎年懇話会にて評価検証していただき、結果を公表し、議会でも議論をさせていただいている。

③人口減少に特効薬はないと考える。総合戦略に基づき、各施策の目標達成に向けてしっかり

と取り組んでいきたい。

日野町の近年の人口推移

平成12年	23,022人
平成17年	22,809人
平成22年	22,870人
平成27年	21,873人
平成30年4月1日	21,307人

議員のコメント

1問目では、集落単位の農業行事に対する補助制度など、若い世代に農業を身近に感じてもらう為の取り組みを提案しました。

2問目では、人口減少の原因分析と対策が甘く、ビジョン無き施策を指摘しました。総合戦略の見直しも含めた人口減少対策が必要です。





高橋 渉 議員

## 通学路の安全対策を問う

## 児童虐待防止対策を問う

### 通学路の安全対策を問う

**問** 通学路の交通安全や、通学路と隣接している構造物、立木などの危険性をどの様に把握し対策を行っているのか。甲賀市での小学生側溝事故を受けて、当町の危険個所の調査を行ったのか。不審者などへの防犯対策として、どのような対応指導をされているのか。最近の不審者情報はどうなっているのか。子ども達を守るには、地域や関係団体、機関との連携が必要であるが、どのような体制をとられているのか伺います。

**答** 通学路は、教育委員会、建設計画課、東近江警察署、東近江土木事務所等が合同で点検を実施している。PTAでは自主的に安全点検をされ、危険個所の報告もある。道路管理者において必要な修繕や補修を進めてもらっている。通学路に隣接する建造物や立木等は、基本的に所有者で対応をお願いすること



になる。甲賀市の事故を受けて、注意喚起を行ったが、現在、緊急的に対応を要する箇所の報告はない。不審者への対応として、情報把握時の連絡体制を定め、必要に応じて地域や住民に情報提供を行う。防犯対策として、各学校で毎年防犯学習を実施している。不審者情報は、平成29年度に12件、今年度は2件を把握している。

### 児童虐待防止対策を問う

**問** 全国的に児童虐待が社会問題となつて久しいが、年々虐待件数の報告が増加しているのが現状である。日野町での児童虐待の実態はどうなっているのか。また、実態の問題をどのように整理され、当町での虐待防止の課題は何かを尋ねます。

児童虐待相談件数(対象児童数)の推移 (人)

年度	身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	保護の怠慢・拒否	計
H19	15	1	0	8	24
H20	14	2	2	13	31
H21	25	2	4	22	53
H22	29	2	7	29	67
H23	22	3	7	36	68
H24	28	6	10	34	78
H25	30	1	31	33	95
H26	23	1	53	49	126
H27	24	1	49	53	127
H28	33	0	50	50	133
H29	44	2	42	59	147

【資料：子ども支援課】

### 議員のコメント

子ども達を取り巻く環境は、急速な社会の変化に伴い安全安心面で悪化しているのではと考えます。対策が必要であり、その中でも行政が対応する役割は大変大きい。しかし、交通安全対策にしても信号機、ガードレールの設置などで「予算がない」で終わっているのが現状です。2項目の質問を通じて感じた事は、やっておられる事は理解しますが、もっと子どもに寄り添った考えや行動が出来るかであります。

**答** 日野町の児童虐待の相談件数が、平成29年度で、147件あり、5年前と比較すると1.8倍と大きく増加している。地域の虐待への意識が高まり、日常での子ども達の見守り、学校・園への相談実施などが増えた事が要因である。虐待の背景は、親の育児不安、社会的孤立、経済的問題など複数の要因が複雑に絡み合っている。子どもの安全安心な生活が保持されるよう適切な支援に努めている。そのためには子どもの背景にあるものを多面的に見る必要がある関係機関との密な連携が重要と考えている。



# 介護職員の人材確保!!

## 子どもの貧困対策



池元 法子 議員

### 介護職員の人材確保!!

**問** サービスを担う介護人材の確保は、第7期の重要な課題である。

① 町内の介護事業所の職員の定着率は。

② 町内介護事業所の正規職員、非正規職員の割合、給与水準は。

③ 事業所によっては、人材不足が続いていると聞く。人材の充足状況など、各事業所の実態について掌握されているか。

④ 町として、介護職員の処遇改善のための対策は。

**答** ① 職員として、採用後1年以上働き続けている定着率は67%程度である。

② 非正規職員の割合は、53・6%、給与水準は正規職員で月額16万8千円、非正規職員で14万8千円程度。

③ 特別養護老人ホームや通所介護事業所において、介護人材不足からサービス提供が停滞して

いるところがある。

④ 国の施策は、消費税増税に合わせた実施である。

町の施策は、初任者研修受講者への支援補助、その受講者が町内の在宅介護事業所に1年以上勤務している場合、就労奨励金の支給に取り組んでいる。

### 子どもの貧困対策

**問** 6人に1人の子どもが貧困状態にある日本社会の現状は、一刻も放置できない問題であり、国・自治体あげて最優先で取り組むべき課題である。

日野町における子どもの貧困の実態について、どう把握し、どのような観点から解決、対応を考えているか。

**答** 今年3月末現在で、18歳以下の子どもがいる生活保護世帯は、17世帯で子ども数は28人となっている。

小中学校へ通う要保護児童・生徒の人数は10人、要保護児童・生徒は152人であり、特に要保護については、教職員と連携しながら掌握に努めている。

国民生活基礎調査のポイント  
厚生労働省調べ

2015年(調査対象年)	
子どもの貧困率	13.9%
12年ぶり改善も主要国の中で高い	
ひとり親世帯の貧困率	50.8%
主要国で最悪レベル	
全体の貧困率	15.6%
主要国で最悪レベル	
2016年	
75歳以上の「老老介護」	30.2%
初の3割超	
介護が必要になった主な原因「認知症」	18.0%
初のトップ	
喫煙率	19.8%
初の2割未満	



### 議員のコメント

わが町の高齢者が、生きがいをもって安心して生活できる環境を実現するため、また、わが町の宝である子どもたちが健全に育つために国・自治体の対策を充実するとともに、地域の人としてのつながりを大切にしていきたい。全国的に取り組まれている子ども食堂の充実を求めている。



町としては、必要な家庭に現在の福祉・教育施策における各種の制度を活用して対応している。





谷 成隆 議員

## 観光客の公共公衆トイレについて

### 総合防災訓練について

#### 観光客の公共公衆トイレについて

**問** 町の玄関口である日野駅から、レンタサイクルを利用される人や、散策される観光客を見かけます。そこで皆様から「お茶、食事」をする場所はありますか、公衆トイレは何所にありますかとよく尋ねられます。日野駅から近江日野まちなか観光交流拠点施設方向に歩いて行くと、道路沿いには公衆トイレが無く、国道307号線まで歩けば（約1.8km）ひばり野遊園地の後ろ北側に公衆トイレが有りますが、障害者用トイレは有りません。洋式化はされていない公衆トイレです。ここを通過すれば、次の公衆トイレは（約1.5km）近江日野まちなか観光交流拠点施設まで歩かなければなりません。そこで何点かお伺いします。

①町の施設（公民館、わたむきホール虹他）の洋式化は進

んでいるが、未改修の施設（公衆トイレ含む）整備計画はあるのか。

②町内全公衆トイレの管理状況は把握されているのか。

③町道大窪内池線道路沿いに公衆トイレ新設は考えられないものか。

**答** ①まちなかの公衆トイレは、一定洋式化も出来ており、当面改修計画はないが、まち歩きをされる観光客などの状況をみながら、対応していきたい。

②概ね月1回、現場確認を行い、状況把握に努めている。

③現在、具体的な計画はないが、日野祭や栈敷窓アート、日野ひなまつり紀行等のイベント時における今後の課題と認識している。

#### 総合防災訓練について

**問** 雨の降る梅雨や、台風の気配がする時期を迎えます。

全国各地では、異常気象と言える強風・落雷・大雨・竜巻といった警報・注意情報が増え発生しています。日野町では毎年、「日野町地域防災計画」に基づき、町・防災関係機関および地域住民の参加協力のもと日野町総合防災訓練を実施されていますが、次の点についてお伺いします。

①日野町防災訓練に自衛隊・消防・警察と連携した訓練は実施されないのか。

②自衛隊滋賀地方協力本部と連携して、身近な自衛隊を町民の皆様に見て、知って頂ける機会を設けて頂けないのか。

**答** ①まずは、地域の身近な協力団体や関係機関との連携強化が大切であると認識しており実施の予定はない。

②自衛隊滋賀地方協力本部等がイベント等の機会を捉えてPRいただければと考えている。



他市町での訓練の様子（自衛隊提供）

#### 議員のコメント

1 町にたくさんの方の訪問客や観光客に来て頂くとするなら、その立場にたち一日も早く実行しようと要望します。

2 滋賀県（日野町）は全国他県から比べても災害が少なくあまり危機感がないように感じる。もっと危機感を持ち防災訓練に打ち込んでもらいたい。災害がいつ発生しても迅速に対処できるように要望します。



# 国と地方の協議の場

安倍総理、麻生副総理らと

杉浦議長（全国町村議会議長会副会長）が協議



着席者左から4番目が杉浦議長  
同右から安倍総理、麻生副総理兼財務相、野田総務相、越智内閣府副大臣

5月29日、総理官邸にて「骨太の方針の策定等について」を協議事項として「国と地方の協議の場」が開催され、杉浦和人議長（全国町村議会議長会副会長）をはじめ地方6団体の代表が出席しました。杉浦議長は「我々町村は国民生活を支えるため食料供給、水源涵養、国土保全に努め、地場産業を創出する等、大きな役割を果たしてきましたが、このような役割を果たしていくためには、自主財源の乏しい町村にとって何よりも一般財源の確保が不可欠である。そのためにも、平成31年度も一般財源の総額、特に命綱である地方交付税の総額確保をお願いしたい。」と発言。菅義偉内閣官房長官は「骨太の方針については、しっかり対応していきたい。地方の活力なくして、日本の活力なし。しっかりと連携してやっていきたい。」との発言がありました。

## 日青協会長に内池の福永氏 杉浦議長が祝福・激励に

### 福永晃仁さん日本青年団協議会 第40代会長就任披露祝賀会



福永晃仁氏(右)と杉浦町議会議長(6月16日・滋賀県青年会館)

この5月から日本青年団協議会の会長を受けさせていただきました、内池東の福永晃仁（あきひと）と申します。就任披露祝賀会に際しましてご多用中のところ、ご来席いただき、心よりお礼申し上げます。誠にありがとうございます。杉浦議長はじめ、藤澤町長、今宿教育長には、大変感謝しております。

謙虚さを忘れず、社会教育・地域青年活動の大切さを伝えていきたいと強く思っております。

日野町内池 福永晃仁



## 提出された議案

### 専決処分（2件）

◆日野町税条例の一部を改正する条例の制定について  
（原案承認・全員賛成）

関係法令の制定公布に伴い、外国に関連会社があり合算課税の適用を受ける法人について、外国との二重課税とならないように調整措置等を定める改正。

◆日野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について  
（原案承認・全員賛成）

関係法令の制定公布に伴い、国民健康保険税の基礎課税額の課税限度額を4万円引き上げるほか、軽減判定所得の算定における加算額を引き上げる改正。



### 人事案件（1件）

◆日野町副町長の選任について  
（原案同意・賛成多数）



副町長に高橋正一氏（中在寺、写真）を選任することに同意。

### 規約の変更（1件）

◆八日市布引ライフ組合規約の変更について  
（原案可決・全員賛成）

布引斎苑火葬場の新たな施設が稼動するにあたり、東近江市合併前の愛東町、湖東町の区域が利用されることについての協議。

### 財産の取得（1件）

◆日野町消防団消防ポンプ車  
（原案可決・全員賛成）

第一分団（鎌掛詰所）の消防ポンプ車を更新。

▽取得金額・・・1千976万

### 条例の制定・改正（4件）

◆日野町税条例の一部を改正する条例の制定について  
（原案可決・全員賛成）

関係法令の制定公布に伴い、個人町民税、町たばこ税、固定資産税、軽自動車税の制度の一部改正。

◆日野町家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について  
（原案可決・全員賛成）

関係省令の制定公布に伴い、家庭的保育事業者が行う保育や食事の提供における基準が変更されたことによる所要の改正。

◆日野町放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基

4千円 ▽取得の相手方・・・  
（株）斉藤ポンプ工業 代表取締役  
斉藤香一

準を定める条例の一部を改正する条例の制定について  
（原案可決・全員賛成）

関係省令の制定公布に伴い、放課後児童支援員の資格等に係る規定について改正。

◆日野町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について  
（原案可決・全員賛成）

介護保険法施行令の一部改正により、合計所得金額の定義にかかる条文の位置が変更されることに伴い、引用箇所を改正。

### 補正予算（1件）

◆平成30年度一般会計  
（原案可決・全員賛成）

2億9千867万5千円を追加し、予算総額は88億3千267万5千円となった。また、西大路地区定住地整備事業を実施するにあたり、債務負担行為の追加補正を行い、平成30年度から平成35年度までの6年間で1



億7千681万5千円を限度額として設定。

## 歳出

◇担い手育成対策事業

720万円

◇畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業

2億9千147万5千円

## 報告(1件)

◆平成29年度日野町一般会計繰越明許費繰越計算書

## 請願

◆主要農作物種子法に代わる公共品種を守る新しい法律をつくることを求める請願(不採択)  
第2回(3月)定例会で継続審査となっていました。賛成少数で不採択となりました。

採決で採択に賛成した議員

奥平、齋藤、東、池元

## 付帯決議

◆一般会計補正予算(第1号)に対する付帯決議(可決決議)

堀江和博議員から提出され、審議の結果、賛成多数により可決されました。

採決で決議に賛成した議員

堀江、後藤、山田、谷、中西、蒲生、富田、高橋

### 議第52号平成30年度日野町一般会計補正予算(第1号)に対する付帯決議

議第52号平成30年度日野町一般会計補正予算(第1号)に対して、次の付帯決議をつける。

- 1 本補正予算のうち債務負担行為の執行にあたっては、西大路地区定住宅地整備事業に係る一般財源での投資理由について日野町全域からの理解を得られるよう、日野町全体の定住・移住促進ビジョンを策定し、そのなかで本事業の役割を明確にして投資の必要性を示すこと。
  - 2 地元や土地所有者の意向を踏まえて、日野町議会が平成28年12月22日に全会一致で可決した「平和堂日野店閉店後の跡地対策を求める決議」の内容を1のビジョンのなかに位置づけて履行すること。
  - 3 本補正予算のうち債務負担行為の執行に関し、滋賀県土地開発公社との契約の締結の際には、事前に日野町議会に契約内容を説明すること。
- 以上、決議する。

平成30年6月25日

滋賀県蒲生郡日野町議会

### 【西大路地区定住宅地整備事業について】

#### ◎町当局からの説明

西大路地区では、市街化区域として土地利用計画がされているが、若い世代が定住できる宅地整備が進んでいない。少子高齢化対策と若者の定住対策に取り組む絶好の機会であり、地域と連携しながら宅地整備を進めていきたい。

- ◇事業面積 8,171㎡(25区画)
- ◇事業期間 平成30年度～平成35年度
- ◇事業費 1億7,681万5千円
- ◇事業主体 日野町(滋賀県土地開発公社へ委託)

#### ◎付帯決議(案)提案理由の説明(堀江議員)

事業に反対するものではない。むしろ遅すぎたと思っている。しかし、付帯決議(案)のとおり町全域で理解を得るにはプランや公社との契約はまだまだ整理する部分があると思われる。

**債務負担行為・・・後の年度の債務を約束することを予算で決めること。**

西大路地区定住宅地整備では、宅地販売まで滋賀県土地開発公社の事業を保証するものです。



# の 報 告

## 総務常任委員会

委員長 富田 幸

本委員会に付託のありました案件は、「財産の取得について（日野町消防団消防ポンプ車）」と、「日野町税条例等の一部を改正する条例の制定について」の2件でありましたが、委員会ではすべて原案どおり可決すべきものと決しました。

この中で財産の取得について詳しく説明致します。

この案件は、日野町消防団の第1分団鎌掛詰所に配備される消防ポンプ車の購入であります。これは現在の消防ポンプ車が15年を経過するために新しく買い替えされるものであり、消防ポンプ車は皆様がよく見かけられている消防ポンプ車で、AT（オートマチック）型、四輪駆動車です。

近年の消防ポンプ車は、ドライブレコーダーが標準装備されており、これが装備されていない第1分団日野と西大路の消防ポンプ車は今後、

車検時に装着されるよう委員会では要望が出されました。

## 産業建設常任委員会

委員長 中西 佳子

3月定例会で継続審査となりました。主要農作物種子法に代わる公共品種を守る新しい法律をつくることを求める請願について審査を行いました。滋賀県が要綱を制定しており、県は同様の取り組みを継続されるとの意見があり、また、安くて安全な種子の提供は国の責任等の意見もありましたが、採決は起立少数で不採択と決しました。なお県に条例化要望については、もう少し調査研究を行いたいと考えます。その他、西大路定住宅地化調査状況、日野警部交番跡地、平和堂日野店跡地、鳥居平工業団地、町道西大路鎌掛線の状況について調査研究を行い、質疑意見交換を行いました。

## 厚生常任委員会

委員長 東 正幸

委員会に付託されました案件は、八日市布引ライフ組合規約の変更および条例改正が3件であり、すべて全員賛成で可決しました。一件には、放課後児童健全育成事業に関する改正は、学童等の指導員の資格に関する改正であり、保育士・社会福祉士・教諭経験者のほかに「5年以上学童保育事業に従事して町長が認めたもの」が追加された。



工事中の布引斎苑(八日市布引ライフ組合)



# 委員会

調査研究テーマとして「日野町国民健康保険特定健診の実施について」の説明を福祉保健課から受け、受診率の向上に向けての対策、結果説明会、個別面談、あるいは電話や文書など活用しながら徹底していくとされた。

## 人口減少対策特別委員会

委員長 齋藤 光弘

日野町くらし安心心ひとつくり総合戦略の平成30年度取り組み状況資料の基本目標（１）「町のたからで雇用を創る」基本目標（２）「出合いと発見で人の流れを作る」を担当課より、KPI実績、取り組み状況等について説明を受け、質疑・意見交換を行い、委員より、農家民泊、住宅リフォーム、特産品の販売促進、観光交流拠点施設でのチャレンジショップ、北山和紅茶、日野菜のGI認証、空き家対策等について質疑意見があり、取り組みの要望を行いました。

1年余りが過ぎた議会からの「定住・移住の促進に関する提言」について質疑を行い、その他、地震による通学路の安全確保等の質疑要望を行いました。基本目標（３）（４）については9月の特別委員会で協議することとします。

## 地域経済対策特別委員会

副委員長 堀江 和博

閉会中審査として、4月20日には地域経済に係る各課題の現地視察を実施しました。視察先は「鳥居平工業団地、寺尻工業団地、旧平和堂日野店跡地、旧日野警部交番跡地、西大路定住宅地化、町道西大路鎌掛線」の6件です。その後、現地視察に対する見解をまとめ、5月24日に「地域経済対策に係る町政課題に対する見解」を議長宛に提出しました。6月定例会においては「①企業誘致および工場用地開発の現状について」「②幹線道路関係の現状について」「③定住宅地化整備計画の取り

組みについて」「④旧警部交番跡地、旧平和堂跡地構想について」の4項目について現状把握と今後の取り組みについて意見を交わしました。

## 予算特別委員会

委員長 山田 人志

6月議会に提案された補正予算のうち1つで議論が紛糾しました。それは西大路の宅地開発で県土開発公社との契約に要する債務保証を6年間の一般財源の債務負担行為に計上するというものです。

簡単にいうと、分譲地の開発から販売までの全てを公社に任せて必要経費の全額を保証し、売れ残る宅地は町が買い取る内容で、宅地が完売しても7千万円近い持ち出しです。大胆な予算なのにビジョンや計画が充分でないということで、一旦は継続審査になりましたが、最終日に2度目の委員会を開催し、付帯決議をつける多数意見を踏まえ、原案を全会一致で可決しました。



## 地域経済対策に係る町政課題に対する申入書を町長に提出！

地域経済対策特別委員会において、委員会の目的を達成するため、休会中に企業誘致、道路網の整備、商工業対策等の課題解決に向けて議論と調査研究を進め、課題に対する見解を杉浦議長に提出し、その後、平成30年6月13日、杉浦議長より藤澤町長に「地域経済対策に係る町政課題に対する申入書」が提出されました。要約は次の通りです。

### 1. 鳥居平工業団地

工場建設には基礎工事で経費が嵩むことが予想され、誘致には厳しい条件であると思われる。一つしかない進入路や区画の割り振りなどあらかじめ行政としての助言や指導等が出来なかったのか。民間の事だからというのではなく、町長をはじめ町当局による積極的な企業誘致に取り組んでいただきたい。

### 2. 寺尻工業団地

寺尻工業団地が作られてから20年近く経過してもなお、遊休地が存在している。町長をはじめ町当局による積極的な誘致活動も見受けられない。町当局が動かない限り進展はなく、企業と交渉を行うなどの積極的な対応を望む。

### 3. 旧平和堂日野店跡地

日野の中心地にある殺風景な跡地に不満を持つ町民が増えている一方、町当局はこの状況に対し問題意識を持っているのか疑問である。町が跡地を購入することを強く要望するとともに、跡地の用途について住民の意見などを交えて決定していくことを求める。町は、跡地利用計画を早急に策定すべきである。

### 4. 旧日野警部交番跡地

当跡地について町当局が県と協議・交渉している様子が見られない。様々な可能性について県当局と協議することが出来るはずである。西大路定住・移住対策で同じように費用を投入するのであれば、即効性の観点からこちらを優先すべきでないか。町は、跡地利用計画を早急に策定すべきである。

### 5. 西大路定住宅地化

町の莫大な費用負担について、果たして町民全体の理解が得られるのか疑念を持たざるを得ない。町は、旧平和堂日野店跡地、旧日野警部交番跡地と西大路定住宅地を連動して土地利用計画を早急に策定すべきである。計画の位置付けや多額の費用がかかるとされる財政面など、説明責任を果たしてもらいたい。

### 6. 町道西大路鎌掛線

この路線は、主要幹線道路として日野町の産業・経済・観光・防災などの多くの面で重要な路線となる。しかしながら、このままの計画では5年どころかそれ以上の時間がかかる。町当局は、早期の実現に向けて事業費と財源の確保に努めてもらいたい。



# トピックス6月議会

平成30年第3回定例会（6月議会）が、6月1日から25日までの25日間の会期で開催され、町長から提案のあった10件の議案と1件の報告について審議を行いました。その中のトピックスは、次のとおり

## 一般会計補正予算で 付帯決議

◆提案された平成30年度一般会計補正予算（第1号）は予算特別委員会に付託され6月18日に審議しました。

そのうち「西大路地区定住宅



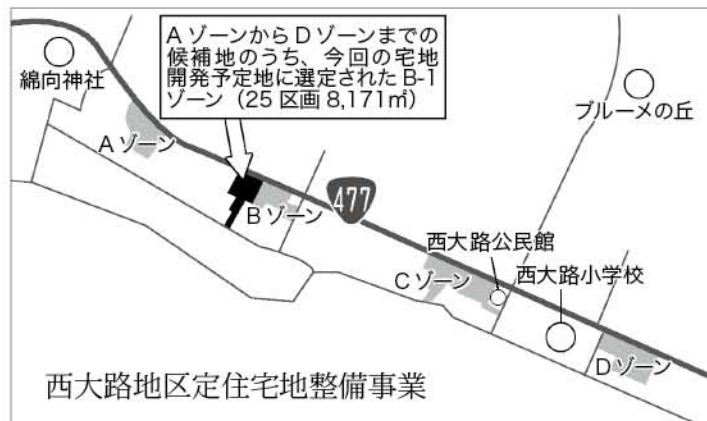
提案説明を行う藤澤町長

地整備事業」の債務負担行為について意見、質問が続出し、継続審査にしてはどうかとの提案があり、賛成6反対5の賛成多数で継続審査となりました。

しかし、事業そのものに反対するものではないので、会期の6月25日にもう一度予算委員会を開催することで全員が同意しました。

2度目の委員会では、前回に続く質疑の最後に「付帯決議をつける」という動議が提出され、その動議に対する反対討論もあったので、特別委員会での採決を見送り、あらためて本会議で付帯決議を決議してもらうことで全員が同意しました。本

会議では、付帯決議案についての討論の後に採決に入り、賛成8反対4で今回の補正予算に付帯決議をつけることで可決しました（付帯決議文は17ページ）。



西大路地区定住宅地整備事業

## 副町長の選任同意

◆昨年9月以降、空席になっていた副町長の人事案件が提出

されました。

副町長人事は、無記名投票によつて、賛成7反対5の賛成多数で「高橋正一」氏（なかにし まさかず）を選任することに同意しました。

## 種子法に関する 請願は不採択

◆3月議会に提出され継続審査になっていた「主要農作物種子法に代わる公共品種を守る新しい法律をつくることを求める請願」について産業建設常任委員会再度審査をしました。4月1日の同法の廃止に伴い、同日付で滋賀県が制定した「滋賀県水稲、麦類および大豆の種子供給に係る基本要綱」の推移を見るための継続審査でしたが、県の要綱でこれまでと同様の取り組みがされていることが確認でき、今回の請願は賛成4反対8の賛成少数で不採択とすることにしました。



# 夏まちな話題



ポンプ車の部で優勝した第三分団



小型ポンプの部で優勝した第一分団B

第38回日野町消防団ポンプ操法訓練大会が7月1日午前7時より桜谷小学校(佐久良)で開催され、町内3つの分団から小型ポンプ8チーム、ポンプ車5チームが出場し、日ごろの訓練の成果を競いました。日野町は県内で唯一団員の定員数(185名)を満たし続けており、町民の自主防災意識の高さに他市町からも大きな評価を受けています。当日は風が吹き、難易度が上がりましたがキビキビとした操法が行われ、どの分団も優勝つげがたい中、小型ポンプの部は第一分団B、ポンプ車の部は第三分団が優勝しました。議会からは杉浦議長、蒲生副議長はじめ、高橋、後藤、堀江の地元議員、自主参加の齋藤議員が来賓として激励を送りました。

## 第38回日野町消防団 ポンプ操法訓練大会



7月1日、日野町の夏の風物詩として定着し、今回で24回を数える日野少年少女合唱団定期演奏会がわたむきホールで開催され、幼稚園から大学生までの皆さんがミュージカルなど心に響く歌声を披露。合唱の町にふさわしいイベントとなりました。

## 日野少年少女合唱団 定期演奏会

## 東桜谷防災懇談会

地域防災への取り組みの一環として東桜谷では区役員、消防団、地元町議、地元出身の町職員と担当職員が会食を兼ねた懇談会を開催しており、今年で3年目を迎えます。災害や有事の円滑なコミュニケーションを目指した先進的な取り組みです。





# 議会を身近に

#1 議会ってどんなところ？

## 二元代表制とは？

地方議会は住民が直接選挙で首長と議員を別々に選ぶ二元代表制という制度をとっており、日野町議会は選挙で選ばれた14人の議員で構成されています。首相を議員から選ぶ「議院内閣制」の国政とは異なります。首長は予算や条例などの議案を議会に出したり人事を決めたりする権限を持ち、議会は議案の議決などで首長の行政運営を監視する役目を担っています。



## 議員になるには？

日本国籍を持ち日野町で選挙権を持っている人で、選挙当日に満25歳以上である必要があります。ただし、公民権が停止されている人、禁固以上の刑に服している人は立候補することができません。全国的に地方議員の高齢化、なり手不足が問題となっており、若い議員や女性議員が地方議会を増えることを望む声も多くあります。



## 議会はいつ開くの？

3月、6月、9月、12月と年に4回の定例会が開かれますが、これ以外にも必要に応じて臨時議会を開きます。定例会では議場で開かれる本会議と、委員会室で開かれる常任委員会、特別委員会などがあります。本会議の様子はインターネット中継されていますので、パソコンやスマートフォンなどでご覧になれます。

日野町議会インターネット中継

検索

生中継、録画中継を見ることができます  
(録画は5～7日後)

## 傍聴にお越しください

本会議は役場4階の議場、委員会は4階の委員会室で傍聴することができます。議会の日程は、役場からの日野めぐるやホームページで情報配信されています。本会議2日目、3日目に議場で行われる質疑や一般質問は、各議員が質問という形をとって行政をただす一番の見せ場。ぜひ皆さんも地元議員の活躍を直接ご覧になってみてください。



【訂正】6月15日発刊の創刊号16ページ、3段目4～5行目で、数値の記載誤りがありましたので訂正致します。  
(誤)「住民人口21,757人に対し21,757人」(正)「住民人口21,757人に対し21,598人」



## 「議会だより」に関するご意見募集中

議会広報特別委員会では、「議会だより」に関するご意見や感想を募集しています。

書式は問いません。ご意見や感想は次の方法でお送りください。

多くの皆さんからの投函をお待ちしています。

方法	宛て先等
郵送	〒 529-1698 蒲生郡日野町河原一丁目 1 番地 議会だより 宛
e-mail	gikai@town.shiga-hino.lg.jp
持参	日野町役場 4 階 議会事務局 (投函用のポストを設置)

## 第 8 回議会報告会 開催のお知らせ

～町民の皆さんとの意見交換会～

議会や町政に対する町民の皆さんのご意見を議員にお聞かせください。

ご都合の良い会場へお気軽にお越しください。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

開催日	会場	時間
10月16日(火)	南比都佐公民館	午後7:30 ～ 午後9:30
10月17日(水)	日野公民館	午後9:30

主催：日野町議会 問合せ先：議会事務局  
電話：0748-52-6551

## 議長コラム

### 住民のための議会に



議長 杉浦 和人

この度、議会広報誌第一号発刊にあたり多くの住民の皆様から好意的な評論をいただき、

誠に有難うございました。

さて、六月には県知事選挙が執行されました。当選された三日月大造知事は「一党一派に偏らない県民のための知事になる」と強調されました。首長として謙虚な姿勢は、私ども政治に携わる者としては、大変素晴らしい発言だと思えます。

申すまでもなく、議会は町長の提案に対して議決権を有しています。町の隅々に目を向けて住民の負担増にならない様にチェック機能の役割を果たす一方、住民福祉の向上、地域の活性化には様々な提言はもとより意見書、決議は限りなく行うことが重要と考えております。

引き続き、住民が安心して暮らせる町づくりに、議会一丸となって取り組んで参ります。

## 編集後記

前号から発刊しました当誌ですが、想像以上に大勢の皆様より反響をいただきました。「こんな質問をしているんやね」「見やすかった」「全部読みました」など、沢山のお声をいただきました。

今後もさらに読みやすく分かりやすい議会広報誌の作成を目指して参ります。引き続き、皆様のご意見・ご助言を賜りますよう宜しくお願い致します。

### 議会広報特別委員会

委員長	後藤勇樹
副委員長	堀江和博
委員	東 正幸
委員	齋藤光弘
委員	中西佳子
委員	谷 成隆
委員	山田人志